

アライナーのスリットカットの使い方

1/4ページ

スリットカットに必要な材料と器具類:



アライナースリットパンチプライヤー



顎間ゴム



アライナー

クラスII不正咬合のスリットカットについては、以下をご参照ください:

1. 上顎アライナーにスリットカットを入れてエラスティックを使用するため、アライナーを修正します:アライナースリットパンチプライヤーを用いて、アライナーの上顎犬歯部の歯頸部にダブルスリットカットを作成し、エラスティックを装着します。



上顎犬歯部のダブルスリットカット

clearcorrect
A Straumann Group Brand

480.870_ja_01/01/22

アライナーのスリットカットの使い方

2/4ページ

2. 下顎アライナーにスリットカットを入れてエラスティックを使用するため、アライナーを修正します:アライナースリットパンチプライヤーを用いて、アライナーの犬歯部の歯頸部にダブルスリットカットを作成します。



下顎第1犬歯部のダブルスリットカット

3. エラスティックの装着:アライナーを口腔内に装着し、犬歯部に作成したダブルスリットにエラスティックを歯肉辺縁側から掛けて伸ばします。次に、このエラスティックを伸ばして、下顎犬歯部に作成したダブルスリットに歯肉辺縁側から掛けます。



スリットスリットのためのカットアウト

4. 毎回の診察時に経過を慎重にモニタリングします。

エラスティックは、クラスIIの不正咬合が矯正されるまで、または多少オーバーコレクションの状態になるまで装着します。後戻りを防ぐために、オーバーコレクションを治療のセットアップで設定することができます。

clearcorrect
A Straumann Group Brand

480.870_ja_01 01/22

アライナーのスリットカットの使い方

3/4ページ

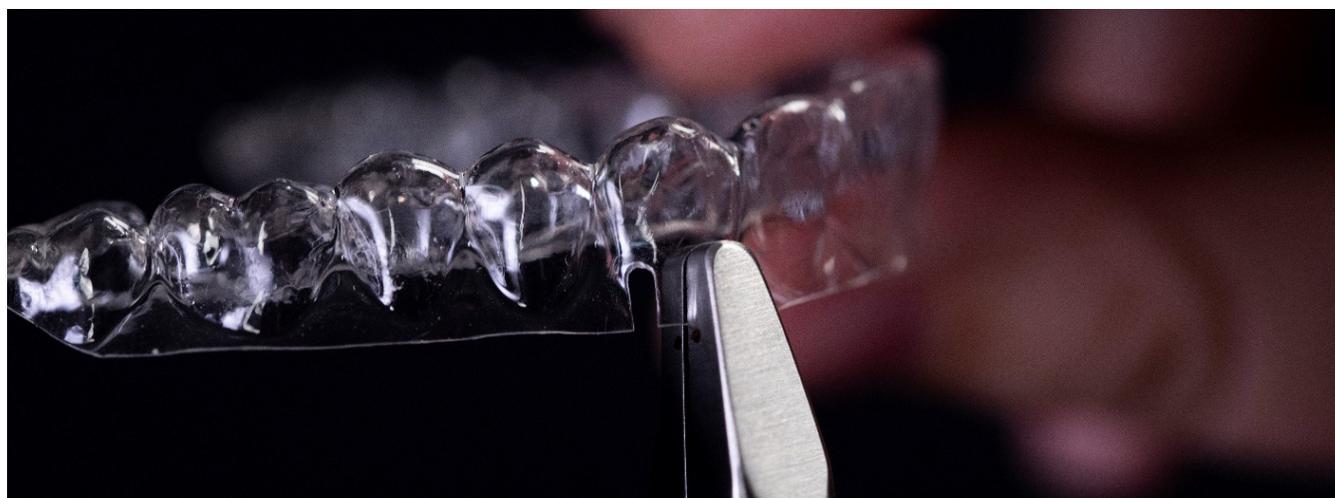
クラスIII不正咬合のスリットカットについては、以下をご参照ください：

1. 上顎アライナーにスリットカットを入れてエラスティックを使用するため、アライナーを修正します：アライナースリットパンチプライヤーを用いて、上顎大白歯部の歯頸部にダブルスリットカットを作成し、エラスティックを装着します。



上顎第1大白歯部のダブルスリットカット

2. 下顎アライナーにスリットカットを入れてエラスティックを使用するため、アライナーを修正します：アライナースリットパンチプライヤーを用いて、犬歯部の歯頸部にダブルスリットカットを作成します。



上顎第1大白歯部のダブルスリットカット

アライナーのスリットカットの使い方

4/4ページ

3. **エラスティックの装着:**アライナーを口腔内に装着し、大白歯部に作成したダブルスリットにエラスティックを歯肉辺縁側から掛けて伸ばします。次に、このエラスティックを伸ばして、下顎犬歯部に作成したダブルスリットに歯肉辺縁側から掛けます。



スリット→スリットのためのカットアウト

4. **毎回の診察時に経過を慎重にモニタリングします。**

エラスティックは、クラスIIIの不正咬合が矯正されるまで、または多少オーバーコレクションの状態になるまで装着します。後戻りを防ぐために、オーバーコレクションを治療のセットアップで設定することができます。